

# 国際バカロレア (IB) ディプロマプログラム (DP) 科目概要

創造性・活動・奉仕 (CAS)

2017年卒業予定者から適用

IBディプロマプログラム (DP: Diploma Programme) は、綿密に構成され、高い学業レベルを要求する一方で、教育的にバランスのとれたプログラムです。16歳から19歳までの生徒を対象として、大学での学問やその後の生涯で成功できる人間になるための素養を養います。DPは、知識豊かで探究心に富み、思いやりと共感する心をもつ人間の育成、また、多様な文化の理解と開かれた心の育成に力を入れており、さまざまな視点を尊重し評価するために必要な態度を育むことを目指しています。「指導のアプローチ」と「学習のアプローチ」(ATL: approaches to learning) は、熟慮された戦略やスキル、態度として、指導や学習の場に浸透しています。DPでは、思考スキル、リサーチスキル、社会性スキル、自己管理スキル、コミュニケーションスキルという5つのATLカテゴリーのスキルを発達させます。

幅広く深い知識と理解を得られるようにするために、生徒は、1) 自分が最も得意とする言語、2) 付加言語、3) 社会科学、4) 理科、5) 数学、6) 芸術の6グループから6科目を選択する必要があります。ただし、芸術から1科目を選択する代わりに、他の5つのグループから2つ目の科目を選択することもできます。選択した科目のうち最低3科目(最大4科目)を上級レベル(HL: higher level)(推奨授業時間: 240時間)、その他を標準レベル(SL: standard level)(推奨授業時間: 150時間)で履修します。これらに加えて、「課題論文」(EE: extended essay)、「知の理論」(TOK: theory of knowledge)、「創造性・活動・奉仕」(CAS: creativity, activity, service)の3つの「コア」要素があります。「コア」科目は必修で、DPの理念の中核を成すものです。

DPの科目概要では、コースを構成する4つの主要要素について説明します。

## I. 説明とねらい

### II. プログラムの概要

## I. 説明とねらい

「創造性・活動・奉仕」(CAS: creativity, activity, service) は、DPの中核を成すものです。包括的な学びの体験となるCASは、初等教育プログラム(PYP: Primary Years Programme)と中等教育プログラム(MYP: Middle Years Programme)において個人として学んだこと、および人間関係のなかで学んだことを強化し、拡張するためのものです。

CASは、「創造性」「活動」「奉仕」という3つの要素で構成されていて、それぞれ以下のように定義されています。

- 「創造性」(creativity)：アイデアを探究し拡張する取り組みを通じて、オリジナルの作品やパフォーマンス、または独自の解釈を表現した作品やパフォーマンスにつなげる。
- 「活動」(activity)：健康的なライフスタイルに寄与する身体的な活動を実践する。
- 「奉仕」(service)：コミュニティが実際にもつニーズに対応するための、協働的かつ互恵的な取り組みに従事する。

CASのねらいは、以下のとおりです。

- 幅広いCAS活動を楽しみ、その重要性を認識する。
- 目的意識をもって、自分の経験を振り返る。
- 目標を設定し、効果的な方法を模索し、自分の成長のために必要な行動を見極める。
- 新しい可能性を探り、新しい挑戦を歓迎し、新しい役割に順応する。
- 計画的、持続的、かつ他者と共に活動するCASのプロジェクトに積極的に参加する。
- 地域や世界のコミュニティの一員として、他の人や環境に対して責任を負っていることを理解する。

## III. 学びの成果

## IV. プロジェクトのサンプル

CAS活動は、CASの3つの要素のうちいずれかまたは複数にかかわる具体的な出来事です。単発の出来事の場合もあれば、長期にわたる一連の出来事である場合もあります。CASプロジェクトとは、他の人と協力して行い、1か月以上にわたって段階的に進めていく、一連のCAS活動です。通常、生徒のCASのプログラムには、計画的な活動とそうでない活動、また単発の活動と継続的な活動の両方が含まれます。これらすべてが大きな価値をもち、人間としての成長につながる可能性があります。ただし、有意義なCASのプログラムを実現するには、単発の無計画な活動を幾度も重ねるだけでは十分とはいえません。生徒は、プログラム履修中に、少なくとも1つのCASプロジェクトに取り組む必要があります。

## II. プログラムの概要

CASのプログラムは、DPの開始と同時に正式に開始し、少なくとも18か月間にわたって定期的に継続し、「創造性」と「活動」と「奉仕」を合理的なバランスで実践します。

CAS活動は、次の条件を満たす必要があります。

- CASの要素の少なくともいずれか1つに該当する
- 生徒自身の興味、スキル、才能、または成長の機会に即している
- 「IBの学習者像」の人物像を養う機会となる
- DPのコースの必須要件には含まれておらず、その目的で使用されることがない

生徒には、学校が配布するCASのハンドブックのほか、説明会やミーティングをはじめ、さまざまなリソースが学校レベルで提供されます。また、学校のCASコーディネーターやアドバイザーと、正式な面談を行う機会が3回設けられます。



通常、生徒の奉仕活動は、以下の段階を踏んで実施されます。

- 調査と準備をしたうえで、特定したニーズを満たす行動をとる
- 重要な活動を詳細に振り返ることで、問題解決と選択に役立つ情報を得る
- 実際に示すことで、何が起きたかを他の人と共有する

CASの生徒はすべて、CASに取り組んだ証拠としてCASポートフォリオに記録をつけ、完成させます。CASポートフォリオとは、CAS活動、および生徒の振り返りのエビデンスを集積したもので、成績に反映されるものではありません。

各校のCASプログラムは、DPの全体的な実施状況を評価するための定期的なプログラム評価および自己評価のプロセスの一環として評価されます。

### III. 学びの成果

CASは、7つの学びの成果の達成をもって完了したことになります。生徒は、CASポートフォリオにそれぞれの学びの成果を示すエビデンスを記録し、それを学校に提出します。学びの成果のなかには、何度も達成するものもあれば、それほど頻繁には達成しないものもあります。生徒は、CASのプログラム期間中にそれぞれの学びの成果を少なくとも一度は達成したことをCASポートフォリオで示し、そのエビデンスを学校に提出します。

学びの成果	説明
自分の長所と成長すべき点を認識する	さまざまな能力とスキルをもった個人として自分のことを見ることができ、能力やスキルのなかには比較的得意なものとうでないものがあることを自覚している。
課題に挑戦し、その過程で新しいスキルを習得したことを実証する	新しい挑戦とは、これまでに取り組んだことのない活動だけでなく、既存の活動の延長でもよい。新しい経験をしたり、すでに経験のある分野で専門性を高めたりすることで、スキルを新たに習得した、あるいは向上させたことを示す。
CAS活動を計画し開始する方法を示す	個人、または協働で行うCAS活動に関して、アイデアを思いついた段階から計画を実行する段階までを詳細に説明することができる。過去の経験を発展させたり、新しいアイデアやプロセスを考案したりすることで、自らの知識や認識を示すことができる。

CAS活動を継続し、やり遂げる粘り強さを示す	CASに定期的にかかわり、積極的に取り組んでいることを示す。
他の人と協働するスキルを実証し、その意義を認識する	CAS活動を通じて学んだ協働のメリットや難しさを特定、実証し、批判的に議論することができる。
グローバルな意義のある問題への取り組みを示す	グローバルな課題を認識し、それらに対する自らの考えを示し、責任感のある決断をして、地域、国、または国際的なレベルで問題に対応する適切な行動をとることができる。
選択と行動の倫理的な側面を意識し、それについてよく考える	CAS活動を計画・実践するなかで、自分の選択や行動には結果が伴うと認識していることを示す。

### IV. プロジェクトのサンプル

- 「創造性」：壁画の計画、デザイン、制作にグループで取り組む。
- 「活動」：スポーツのチームをつくり、練習を重ねたうえで他チームとの試合に臨む。
- 「奉仕」：助けを必要としている人たちのためのチューター・サービスを企画して提供する。
- 「奉仕」「活動」：地域コミュニティの人たちと一緒に庭園の植栽や手入れを計画し参加する。
- 「創造性」「活動」「奉仕」：地域内の高齢者施設に住む人たちのためのダンスパフォーマンスを創作して練習し、披露する。

IBについて：IBは、過去50年以上にわたり、質の高いチャレンジに満ちた教育プログラムとしての定評を築いてきました。国際的な視野をもって21世紀の現実の課題に対応することで、より良い、より平和な世界の創造に貢献していくことのできる若者を育成しています。

IBディプロマプログラムについての詳細は、IBのウェブサイト ([www.ibo.org/en/programmes/diploma-programme/](http://www.ibo.org/en/programmes/diploma-programme/)) でご覧いただけます。

『指導の手引き』の完全版は、IBのプログラム・リソース・センターからアクセスできるほか、IBストア (<http://store.ibo.org>) でご購入いただけます。

DPが大学での成功の素地づくりにどのように貢献するかについてはIBのウェブサイト ([www.ibo.org/en/university-admission](http://www.ibo.org/en/university-admission)) をご覧いただくか、メール ([recognition@ibo.org](mailto:recognition@ibo.org)) にてお問合せください。